



アップグレード前の手順

- [アップグレード資格のテスト \(1 ページ\)](#)
- [Hypercheck : HyperFlex およびアップグレード前チェック ツール : Hyper-V \(2 ページ\)](#)
- [アップグレードの推奨事項 \(2 ページ\)](#)
- [ブートストラッププロセス \(2 ページ\)](#)

アップグレード資格のテスト

Cisco HyperFlex リリース 4.0 (2a) 以降では、[アップグレード (Upgrade)] ページに、最後のクラスタアップグレード資格テストの結果と、UCS サーバ、HX data platform、および ESXi の最後のテスト済みバージョンが表示されます。

HyperFlex Data Platform をアップグレードする前に、[Upgrade (アップグレード)] ページのアップグレード資格テストを実行して、アップグレードのクラスタの準備状況とインフラストラクチャの互換性を検証します。

アップグレード資格テストを実行するには、次の手順に従います。

1. [アップグレード (Upgrade)] > [アップグレード資格のテスト (Test upgrade 適格性)] を選択します。
2. HyperFlex Data Platform のアップグレード資格をテストするには、[HX Data platform] チェックボックスをオンにします。

アップグレードの前に検証する必要がある Cisco HyperFlex Data Platform アップグレードバンドルをアップロードします。

3. [検証 (Validate)] をクリックします。

アップグレード資格テストの進行状況が表示されます。

Hypercheck : HyperFlex およびアップグレード前チェック ツール : Hyper-V

Hypercheck : Hyperflex ヘルス & アップグレード前チェック ツール : HyperV は、アップグレード前にクラスタが正常であることを確認するために設計された、健全性およびアップグレード前の自動チェックです。この健全性チェックを実行するだけでなく、正常でないと判明したすべてのクラスタに対して修正措置を講じることが必要です。続行する前に、Hypercheck 健全性チェックによって報告されたすべての問題を修正します。

Hypercheck : Hyperflex ヘルス & アップグレード前チェック ツール : HyperV (HyperFlex バージョン 3.5 以降) <https://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/hyperconverged-infrastructure/hyperflex-hx-data-platform/216027-hypercheck-hyperflex-health-pre-upgr.html>

アップグレードの推奨事項

サポートされたリリースのアップグレードについては、『[HXデータプラットフォームソフトウェア推奨リリースバージョン : Cisco HyperFlex HX シリーズ システム](#)』を参照してください。

サポートされなくなったリリースからアップグレードする場合は、『[Cisco HyperFlex Systems Upgrade Guide for Unsupported Cisco HX Releases](#)』を参照してください。

ブートストラップ プロセス

ブートストラッププロセスを使用すると、Cisco HX Data Platform をアップグレードできます。



重要 HXDP リリース 3.0(1x) から 3.5(1a) 以降にアップグレードする場合、この手順が必要です。

ステップ 1 `root` 権限を使用して SSH でクラスタ管理 IP アドレスに接続します。

ステップ 2 最新の HX Data Platform アップグレードバンドルを、コントローラ VM の `/tmp` ディレクトリに転送します。お使いのオペレーティングシステムに応じて、SCP を直接使用するか、WinSCP や MobaXterm などのサードパーティ ツールをダウンロードすることができます。

ステップ 3 コントローラ VM シェルから、`/tmp` ディレクトリに変更します。

注意 `/tmp` 以外のフォルダを使用しないでください。また、サブフォルダを作成しないでください。

ステップ 4 `tar -zxvf <storfs package name>.tgz` を使用してパッケージの圧縮を解除します。

```
tar -zxvf storfs-packages-3.0.1a-26263.tgz
```

これにより、すべてのファイルが `/tmp` フォルダのルートに解凍されて抽出されます。

ステップ 5 `cluster-bootstrap.sh` スクリプトを呼び出して、アップグレード用のパッケージをブートストラップします。次のコマンドを実行します。

```
~ # ./cluster-bootstrap.sh
```

重要 システム管理サービスが再開されてブートストラッププロセスが完了するまで待ちます。

ステップ 6 クラスタ管理 IP コントローラ VM からログアウトします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。